

第76回北海道公立学校事務職員研究大会

令和6年（2024年）8月6日13時から、第76回北海道公立学校事務職員研究大会を開催しました。

ホテルライフオート札幌はZoom配信会場及び石狩・札幌市立支部の集合会場となり、渡島支部、檜山支部、上川支部、網走支部、釧路支部は支部集合研修会場からZoom参加していただきました。個人参加（Zoom）や道立学校運営支援室職員の参加も合わせると220名を超える参加となりました。

今回の大会は前半を本部主催、後半を各支部で研究協議という形式で開催しました。研究協議を実施しなかった支部からの参加者については、本部研修枠に引き続き参加する形となりました。

開会式では武田会長が挨拶を行い、丸橋事務局長からの説明の後、就学支援金と就学奨励費のグループに分かれて、本庁担当者による解説と協議に移りました。

就学支援金は、高校教育課学校制度係 関口 匠 主任が、就学奨励費は、特別支援教育課特別支援教育制度推進係 古里 秀哉 主事が説明を行いました。



開会式の様子

就学支援金について（石狩翔陽高校 菅原研究部理事）

高校教育課関口主任の解説で、受給資格認定申請から認定にいたるまでの事務処理について時系列に分かりやすく説明をいただき、また、支援金を担当する職員に対して今後の事務処理に使用できる資料をご提供いただきました。

協議の場面では活発な意見交換が行われました。学校からの業務軽減のための効率化にかかる取組の紹介、支援室職員から所得確認の方法（①自己情報、個人番号、課税証明書等）によ



就学支援金会場

る認定に要する事務処理の時間の説明、現状の事務処理の実態等の意見もあり、学校、支援室立場の異なる視点からの意見交換が出来たことは、普段経験の出来ない大変貴重な時間となりました。

共通の課題としては、初心者にもわかりやすい、もっと簡素な支援金マニュアルの必要性を求める声がありました。今回の意見交換会は参加者にとって支援金について理解を深める良い機会になりました。

就学奨励費について（高等聾学校 山崎研究部理事）

令和6年8月6日(火)「第76回北海道公立学校事務職員研究大会」(就学奨励費分)について報告します。

特別支援教育課 古里主事の解説で、就学奨励費における制度の概要や変更点について分かりやすく説明していただきました。また、事前アンケートに基づく回答も丁寧にしていただき、非常に理解しやすい内容となっていました。

その後、事前アンケートによる各学校同士の協議を行いました。途中、会場の発表者の音声はZOOM参加者に聞こえないというトラブルもありましたが、無事終了することができました。協議の時間が足りず途中



就学奨励費会場

で終わってしまいましたが、事前のアンケートではたくさんの質問・意見が出てきており、就学奨励費に関して様々な課題を抱えていることが分かりました。

今回の大会は、参加者にとって就学奨励費の仕組み、他校の情報を知る良い機会になったのではないのでしょうか。

ホテルライフオー札幌への集合者及びZoom個人参加者は引き続き、総務政策局総務課（人材育成専門官）西山 一朗 主幹による講話「人材育成支援について」を聞きました。

人材育成支援の取り組みについては、道立学校事務室の現状と課題、道立学校事務職員の人材育成支援の概要と期待される効果、人材育成の支援体制と役割、からお話を、キャリアデザインについては、道立学校事務職員からの人事異動先、学校種による取扱事務等の特徴、事務をつかさどること、事務局の業務内容、からお話を、道立学校運営支援室の

業務については、各系の業務内容の詳細についてお話を、キャリアマップは西山主幹ご自身のキャリアマップも提示してお話をいただきました。

道立学校と事務局の業務内容の違いから、キャリアデザイン実現のためにできること等、西山主幹の実際の経験を交えた話はとても参考になりました。



人材育成専門官 西山主幹

続いて、札幌養護学校 千田 弘行 事務長による講話「令和6年能登半島地震に伴う派遣について」を聞きました。

千田事務長ご自身で撮影された現地の写真を数多く見せていただき、ニュースで見る映像とは違った視点で被災状況を伺うことができました。また、被災地に出発する前日まで派遣の詳細が分からなかったこと、派遣を通して感じたことは情報収集の重要性とその情報をしっかり共有すること等について話していただきました。

実際に被災地に行かれた体験談はとても貴重であり、あらためて防災意識を高める良い機会になりました。また、情報収集と共有の大切さも知ることができました。



札幌養護学校 千田事務長

大会後はアンケートを実施し、集約した結果を今後の大会運営及び専門性の向上、会員同士のつながりや交流の促進等に役立てていきたいと考えています。

大会に参加していただいた会員の皆さま、お疲れさまでした。